

衆議院環境委員会ニュース

平成 20.5.20 第 169 回国会第 9 号

5 月 20 日、第 9 回の委員会が開かれました。

1 環境保全の基本施策に関する件

- ・鴨下環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

盛山正仁君(自民)

- ・本年 7 月に開催される北海道洞爺湖サミットや今月末に開催される G 8 環境大臣会合で、環境大臣として生物多様性について、我が国の立場をどのようにアピールしていくつもりか。
- ・生物多様性の保全と持続可能な利用とのバランスの観点から施策を講じていくことが必要であると思うがいかがか。
- ・生物多様性の観点から施策を講じていくには関係各省庁の連携が不可欠であると思うが、環境省として、今後どのように関係各省庁間の連携を図っていくつもりか。

田島一成君(民主)

- ・生物多様性の現状及びその役割について環境大臣はどのように認識しているか。
- ・都道府県や市町村において生物多様性に係る地域戦略を主体的に策定することに関し、その必要性も含めどのように考えているか。
- ・生物多様性に影響を及ぼし得る事業に対し計画段階で環

境影響評価を行う必要性について、農林水産省、経済産業省及び国土交通省はどのように考えているか。

- ・生物多様性の保全に関する各種実施法の施行状況の検討及びその見直しについて、環境省、農林水産省、経済産業省及び国土交通省はどのように考えているか。

江田康幸君(公明)

- ・我が国全体の生物多様性国家戦略だけでなく、地域における生物多様性の戦略を策定することや地域の多様な主体と連携して施策を進めていくことが重要であると考え、環境省はどのように考えているか。
- ・生物多様性と地球温暖化など気候変動との関係及び施策の現状について、大臣はどのような見解を持っているか。

2 生物多様性基本法案起草の件

- ・小島委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
(賛成 自民、民主、公明、江田憲司君)